

平成26年度岡山市市民協働推進モデル事業

テーマ 外国人市民へ多言語での情報提供を促進し、日本人市民と協働した「多文化共生・協働社会」を進化させる。

目的 人口減少時代を迎え、「多文化共生社会」が停滞している中で、日本人市民と外国人市民がコミュニケーションを強め、一緒に地域活動に参画していくことで、安全・安心で快適な暮らしを実現し、地域経済社会の活性化を図る。

提案事業

岡山市(行政)、NPO及び多様な団体・個人が連携し、以下の事業を行う

- ① 外国人市民へのWebサイトによるやさしい日本語・多言語による情報提供
- ② ボランティア日本語教師・翻訳者・通訳者のネットワーク
- ③次年度以降:行政・ビザ・生活相談及び個別支援

(事務局)NPO法人メンターネット

解決する課題と方策

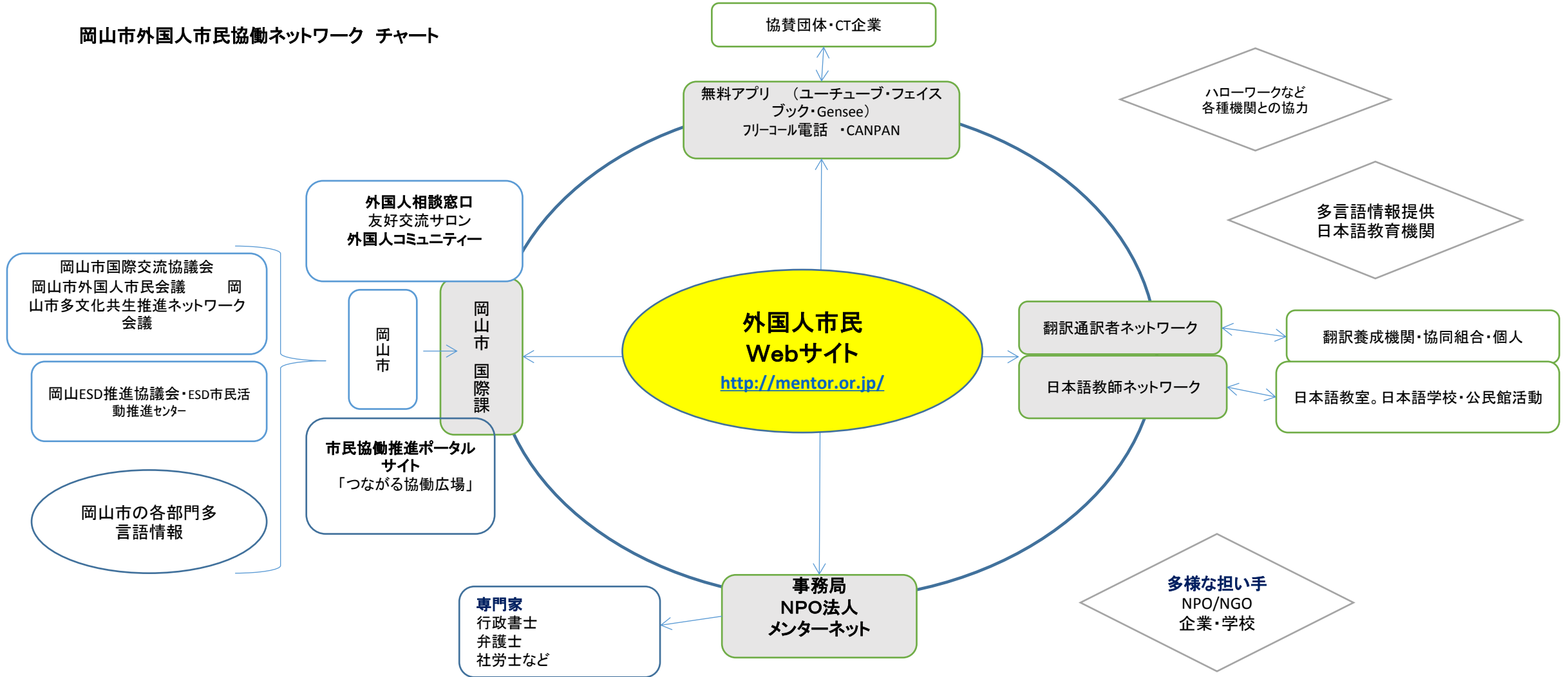
- ①わかりやすい日本語や多言語での情報提供が不足しており、探しにくい
外国人市民及び関係者が各種相談をする窓口が分かりにくく、気軽に相談できない
- ②行政・NPO・日本語教室などの各団体の繋がりが乏しく、日本語学習支援体制が整っていない

外国人市民と地域社会をつなぐ「絆」をつくる必要がある

方策

- ①わかりやすい日本語・多言語による情報提供を行い、必要な情報へのアクセスをしやすくする
包括的な相談窓口を整備し、個別支援を連携して行っていける体制をつくる
- ②岡山の翻訳・通訳者及び日本語教師のネットワークを構築し、行政(岡山市国際課)と協働できる体制をつくる

岡山市外国人市民協働ネットワーク チャート



岡山市の多言語Webサイト

- 岡山市Webサイト(9か国の多言語): <http://www.city.okayama.jp/>
(これを外国人市民に知ってもらい活用することから始めよう。)
 - 市民協働 <http://mentor.or.jp/>
 - フェイスブック <https://www.facebook.com/mentornet.or.jp>
 - つながる協働ひろば <https://www.facebook.com/kyoudouhiroba>
- まず、岡山市内の地域のイベントなどもわかりやすい日本語や動画などで情報提供していく。

全国の多言語情報

- 自治体国際化協会：多言語生活情報（13カ国語）

<http://www.clair.or.jp/tagengo/>

- （外国人市民に知らせましょう）

- 国際交流基金「エリンが挑戦にほんごできます」（7カ国語）：

<https://www.erin.ne.jp/jp/>

- * 一般財団法人岡山県国際交流協会（5カ国語）：<http://www.opief.or.jp/>

- * 技能実習Webサイト：<http://ginou.mentor.or.jp/>

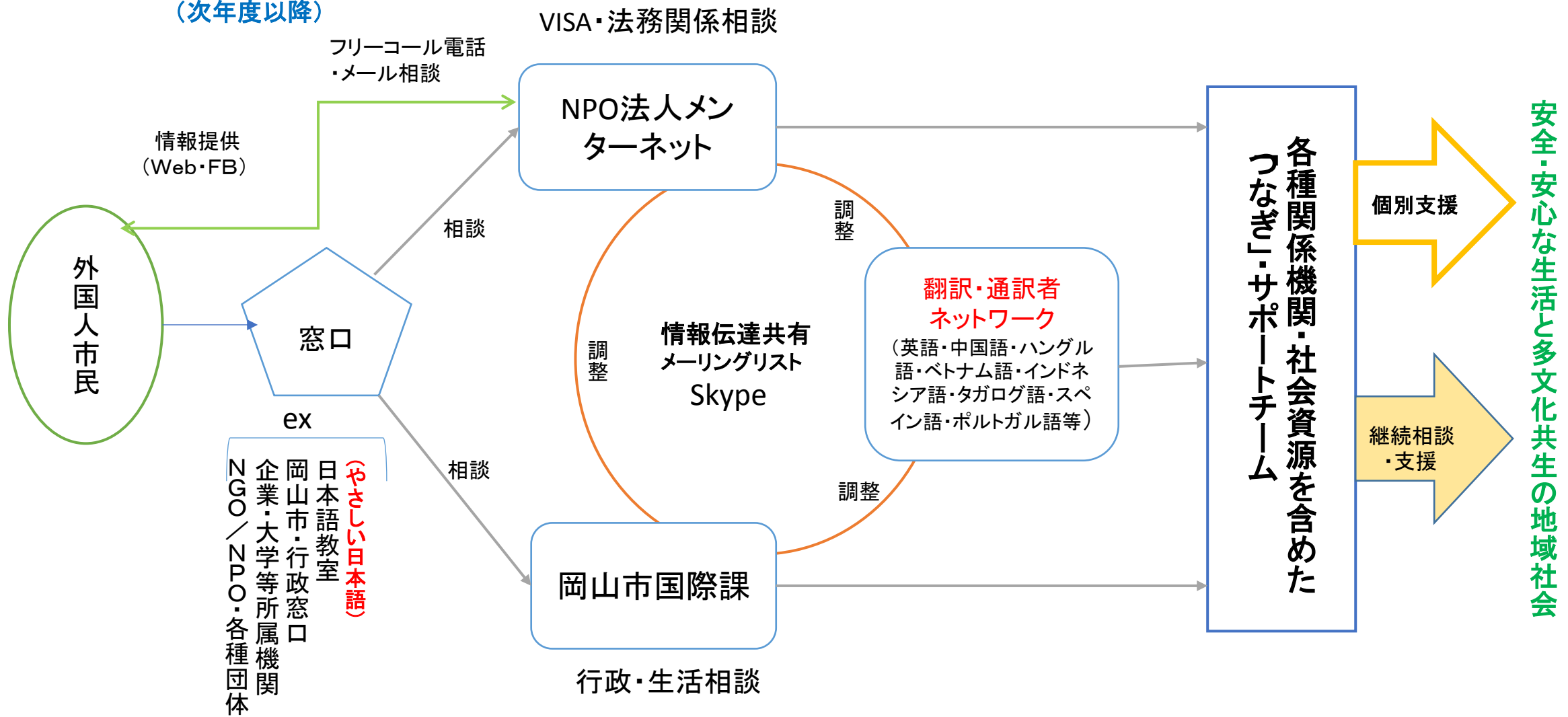
事業の具体化

- 1、やさしい日本語・多言語Webサイトでの情報提供で地域での多文化共生を推進する。
- 2、日本語教師・翻訳者・通訳者のネットワークをつくり、研修・交流をはかる。
- 3、相談対応：外国人市民が、日常的に行政や地域で安全安心な生活できるようにする。
- 4、職業訓練、各種資格取得、技能講習、ガイダンス・法的保護情報講習などでの翻訳・通訳。
- 5、医療通訳、災害通訳・観光ガイド他。

（行政とは区別した有償ボランティアのネットワークで運営する。）

外国人市民相談の流れ

(次年度以降)



安全・安心な生活と多文化共生の地域社会

成 果

- ・行政が提供したい情報を外国人市民が受け取ることが出来るようになり、災害情報・防災訓練など各種行事に外国人市民が参加できるようになる。
- ・行政やNPOが単独では解決できない問題を、多様な関係機関・個人が協働することにより、個別の課題を、支援し、解決することができる。
- ・日本人市民にとっても、外国人市民とのコミュニケーションが進み、「隣の外国人」との信頼関係を築くことができ、安全・安心な暮らしにつながる。

ワークショップや自分の成果目標をかきとめてください。

